



# エコ・ファーストの約束

—環境先進企業としての地球環境保全への取り組み—

平成 22年 5月31日

環境大臣 小沢 鋭仁 殿

ニッポンレンタカーサービス株式会社

代表取締役社長 松本 純一

私たちは、お客さまへの「安全と安心」の提供を通じ、快適で地球環境にやさしいクルマとの付き合い方を提案し続けております。「所有することから必要な時だけレンタルすること」それは不要な排出ガス発生を抑止をはかり、同時に化石資源消耗の抑止にも有効<sup>\*1</sup>であると信じております。

ニッポンレンタカーサービス株式会社は、交通事業者として以下の地球環境改善活動を積極的に推進します。

## 1 ニッポンレンタカーは地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進します

- ハイブリッド乗用車（現保有 1,500台）を、2010年度に倍増（3,000台）させるとともに、2011年度以降も積極的にハイブリッド車両及び環境対応車の導入を推進します。
- 電気自動車のレンタカー導入を積極的に推進し、電気自動車の普及に協力します。
- 2012年度までに、平成17年基準値より有害物質を75%以上低減させた低排出ガス車の比率を乗用車合計（ハイブリッド車両・環境対応車両含む）の90%以上にします。

## 2 ニッポンレンタカーは事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減を推進します

- 環境対応営業所<sup>\*2</sup>（エコ営業所）の新設営業所への積極採用、既存営業所からの切り替えを推進し、2012年度には営業所全体の5%以上を、2020年度までには30%以上を「エコ営業所」とし、事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出削減を進めます。
- 事業活動に伴うCO<sub>2</sub>の総排出量を2020年度までに2009年度比で30%以上減少させることを目標とし、あらゆる努力をします。

## 3 ニッポンレンタカーは「地球にやさしいエコ&セーフティードライブ」をテーマにCO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みをお客さまと共に進めます

- 従業員へのエコドライブ研修・安全運転研修を実施し、自らがエコ&セーフティードライブを実践しお客様にも推奨できる環境を構築します。
- 待機時のアイドリングストップの勧めをはじめ、行き先、乗車人数、荷物量に連動したムダの無い最適なクルマの提案、ハイブリッド車両など環境対応車両ご利用の推奨など、1件1件の貸渡に際し常に環境に配慮した対応を心がけてまいります。
- 独自の事故防止プログラムを導入し、事故防止を推進します。
- 板金修理時におけるリビルト部品（リサイクル部品）の活用を推進し、グループ内修理工場における全部品交換点数の40%以上の活用比率とすることを目指します。

<sup>\*1</sup> 所有とレンタルでの排出ガス量は同じですが、レンタルとすることで本当に必要な時にのみ自動車を使用するようになり短距離、短時間などは公共交通機関や徒歩、自転車の利用に切り替わり自動車利用機会の減少が結果として排出ガスの削減に繋がります。

<sup>\*2</sup> レンタカー営業所の温室効果ガスの排出削減を目的として太陽光発電、照明具のLED化による消費電力の抑制、遮熱塗装化による冷暖房エネルギーの抑制、洗車水用雨水貯水による上水道水使用の抑制を実現した営業所。全設備を備えた営業所から一部設備に切り替えた営業所も含まれます。

ニッポンレンタカーサービス株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について環境省に報告するとともに、ホームページなどで公表を行ってまいります。

